

独立行政法人森林総合研究所林木育種センター北海道育種場

遺伝資源管理課長 高倉康造

昨年6月から石狩地域森林環境保全ふれあいセンターの「地域の森から学ぶ森林づくり」におこがましくも苗木を育てる経験を小・中学生に伝える立場で参加させていただきました。

最近、環境問題への関心が高まり、全国各地でいろいろな森林にかかわるイベントや講座が開催されていますが、樹木の苗木づくりを学ぶ森林教室は少ないと思います。

森づくりに苗木は大切ですが、関心が寄せられていないのがとても残念です。

苗木を育てる過程では、樹木にも草本同様に花が咲いて、受粉や種の散布に昆虫や動物が少なからず関わっていることが理解できます。また、芽生えを観察することで、直径2mmに満たない種子がわずか2ヶ月で数万倍に成長して苗木となる自然の緻密さが理解できます。

これは科学と情操の面で有効な教育だと思います。

日本では、樹木の苗木づくりにかかわる人は少なくなっています。

一緒に学んだ生徒さんから、苗木づくりの未来を担う人が育ってくれることを期待しています。

